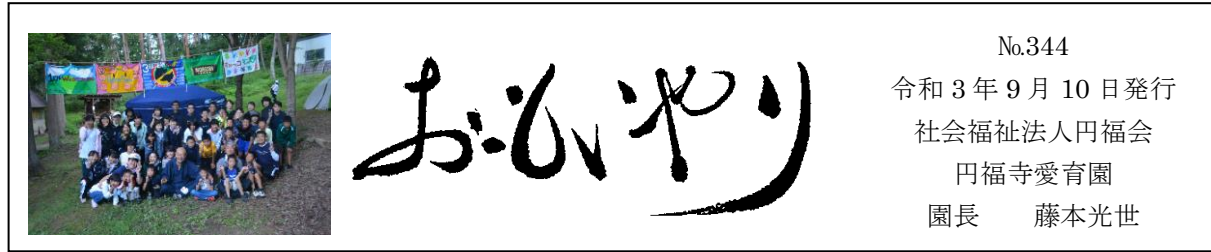


<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

キャンプ行ってきました。例年以上に盛り上がりました！



キャンプ

園長 藤本光世

これまで使わせていただいていた戸隠イースタンキャンプ場が使えなくなり、標高 785mの長野市青少年錬成センター（長野市山田中 2100（旧地名は小田切村））を会場にすることにしました。

会場選びでどうしてもお願いしたいのが、キャンプファイアー。愛育園単独で使えば最高です。青少年錬成センターはその二つを満たして、予約することができました。

初めて使用する会場ですから、二人のホーム長や係職員は何度も下見に行ってくれました。ありがとうございました。おかげですべての活動が大成に円成することができました。子どもたちは大満足だったと思います。

私の立場で感じたことを書きたいと思います。

センター長

センター長に就く前は自衛隊に勤務されていて、当園の児童の自衛隊就職を支援して下さった方でした。子どもたちがキャンプファイアーや、食事や、キックベースなどの楽しむ様子や、あいさつや準備やお手伝いなどの素早い動きや態度を大変感心していただきました。こんなにいい子なら、毎年使ってほしいと言ってくれました。とっても嬉しかったです。長の方のご理解があると、色々なことに配慮していただけてとってもありがたいです。

職員や子どもたちが帰ってから、施設全体を案内していただきました。来年のキャンプはもっともっと楽しくなりますよ。

距離

愛育園から 18 km、車で約 30 分という距離も手ごろでした。（イースタンキャンプ場は 35 km）部活をしてから、あるいは二日目に大会へ出場することもできました。

グラウンドなど

広いグラウンドがありました。グラウンドを使ってみんなでキックベースができました。幼児さんから高校生まで全員が楽しんでいました。私は、暑くて参加は無理でした。木陰で応援していました。

高校の生物班の友人の原田正広君が毎年キャンプに合わせてスイカをプレゼントしてくれます。大玉六個です。キックベースで汗を流したキャンプの打ち上げに、みんなでいただきました。美味

（令和3年9月10日発行 月刊「円福」492号付録）

しかったです。ありがとうございます。

調理設備が使えました。イースタンキャンプ場の時の一日目の昼食はおにぎり、二日目の昼食はカレーでした。でも今年は調理の先生方が、両食事とも調理設備を使って作って下さいました。メニューは一日目がカレー、二日目がうどん（卵やとろろやオクラが入った「ねぼとろうどん」）でした。美味しかったですよ。

朝、散歩すると、遠くに槍ヶ岳が見えました。槍ヶ岳は前山に隠れて見にくいのでなんだか感動しました。小槍も見えました。

楽しかったキャンプの様子は、職員や子どもたちの感想からご覧になって下さい。先生方、子どもたち ありがとう。

インターンシップ

コロナ感染防止に努めて、平常日インターンシップを受け付けています。見学会で愛育園を知ってもらい、インターンシップにつなげ、応募に結び付くことが願いです。児童養護施設は、建物の形態や、施設長の方針や、ホーム長などの指導的な立場にある職員の人格などによって、みんな違います。特に当園は中舎制園舎を利用して、子どもも職員も集団で育てますから、小舎制園舎を利用して「家庭的養護」を目指す施設とは大きく異なります。

私の理念は『「家庭的養育」とは形態ではない。』です。子どもが生活の中で「温もり」を感じることに、「安心・安全」を感じることに、養育者との間に愛着が形成されていること、手作りのお料理を頂けること、家庭的なあるいは家庭以上のたくさんの行事があること（そこで子どもと職員の間関係が形成されます）、子どもの心が「家庭」と感じるような養育者との関係があれば、それは「家庭」であり、その家庭的空間を使って、子どもは大きく成長すると思うのです。成長は幸せに結びつきます。

更に、社会的養護の目的は、子どもの幸せです。子どもの成長（幸せ）にとって規則的な生活（基本的な生活習慣）や、生活の中で自然と覚えるさまざまな「しつけ」は何よりも重要です。

それらは、言葉でいくら説明しても理解が難しいのです。きっと「本当にそんなことができる施設があるのだろうか」と思われるでしょう。子どもたちや職員と一緒に過ごすことで感じ取ってもらえないのです。それがインターンシップです。

インターンシップの終了時にアンケートをお願いしています。そこに、当園の特長がよく書かれています。短い時間なのによく見ているなあと思います。インターンシップに参加される方は、子どもにとって未知の大人ですから人間関係は出来ていません。一人ぼっかもかもしれません。そんな中で、職員や子どもの様子をよくみて考えてくれていることに頭が下がります。

インターンシップに参加しても、当園を応募されない方もいます。それで良いと思います。当園でのインターンシップの経験は、規則的でおまじりのある集団生活で、こんなにも明るく、職員に

なついで、頑張っている子どもたちがいることを知って、きっと将来に生きるでしょう。

インターンシップにおいでの方さま、ありがとうございます。

コロナの感染拡大が止まらず、長野県は医療非常事態宣言が発出中であり、全県が感染警戒レベル5であることを鑑みて、運動会インターンシップは中止いたします。

最高の愛育園キャンプ

主任指導員 富沢正樹



8月3、4日に毎年恒例の愛育園キャンプを行いました。今年は、毎年使わせていただいている戸隠イースタンキャンプ場で団体予約をとるのが困難になってしまった為、キャンプ場を探す所からのスタートでした。児童、職員を合わせて50人以上の参加で、手の込んだキャンプご飯も作りたい！キャンプファイヤーもやりたい！となると、条件に合う場所はほぼ無くなります。「どうしたものかなあ」と考えていると、自分の子供の頃を思い出して、「確か地区の育成会行事で行ったキャンプ場良かったなあ。」「そうだ小田切錬成センターへ行こう！」と決め、早速、連絡を入れるとセンター長さんが「ちゃんときれいに使ってくれるなら」と承諾してくれました。

無事キャンプ場が決まって、今年はどうなキャンプにしようかと計画を練ります。初めての場所で若干不安を感じつつも、「こんなことしたら子供達喜ぶだろうな。」「こういう経験させたら成長につながるだろうな。」と考え、ワクワクしながら計画を立てました。

愛育園の子ども達はとっても素直で、準備、お手伝いを嬉しそうにやってくれます。それだけ、子ども達にとってキャンプは一大イベントなのです。ですが、愛育園のキャンプは楽しいだけではありません。50人分の荷物の積み込み積み下ろしも全部自分たちでやるし、14針のテントも全部自分たちで立てます。これをどれだけ一致団結してできるかで、その年のキャンプの出来が決まります。今年はどうだったか・・・100点満点でした。予定した時間を30分も短縮して、わずか1時間ちょっとで愛育園キャンプ場を作り上げてしまいました。行き慣れた戸隠イースタンキャンプ場ならまだしも、初めての場所でこんなことがあるのかと感動してしまいました。(でも実は毎年感動しています。)

荷物を載せた2tトラックを停めている場所からキャンプ場の敷地までは結構な勾配があるので、何度も何度も駆け足で往復して重い荷物を運んでくれて、更にまた勾配を上がった所にテントを立てて、自分のテントを立てたら、すかさず別のテントに補助に行く。すごい動きでした。子ども達もスタートが一番肝心なのを知っているのです。誰一人さぼることなく、雰囲気的大事にしてくれます。そんな様子が本当に素敵です。

スタートダッシュの甲斐あって、その後は工作、夕飯作り、キャンプファイヤー、花火大会とみんな楽しく大盛り上がりする事ができました。食事作りは各班で練りに練ったメニューを考え作りますが、どの班もレベルが高くてとってもおいしかったです。一部紹介させていただくと、1班は信州美味ダレ焼き鳥、2班はバラエティおにぎり、3班は雪崩パンケーキ、4班はピラフパンシチュー、5班はビア缶チキン。といった感じで、名前だけでも凝っているのがお分かりいただけるのではないかと思います。また、男の子は火おこしが得意でとっても頼りになり、女の子は手際よく料理を作っていてすごかったです。私の班のMさんは、雪崩パンケーキを成功させるためにパンケーキのタワーを作るべく、同じサイズのパンケーキを15枚くらい焼いていて、バーベキューコンロで火加減が難しいのに「たいしたもんだなあ」と感心してしまいました。

こういった様子で、愛育園キャンプでは子ども達の色んな一面を見る事ができます。キャンプファイヤーでは、普段おとなしい性格の小6のK君がレクの掛け声をやりたいと立候補したので、それだけでビックリしたのに、本番で見事に大きな声で場を盛り上げてくれて本当に驚きました。その後「俺だけマイク使わなかったけど、一番声出たでしょ！」と言っていたK君の顔は自信に満ち溢れてました。花火大会では、小4のT君が「先生一緒にやりましょ」と手持ち花火を職員に分けてあげようとする優しい様子が見られたり、中高生の夜の茶話会では普段の生活では関わることが少ないまごころホームの石崎主任保育士に男の子たちが集まって「僕の話聞いて」「次は僕の話聞いて」とまるでお母さんの様に慕っている様子が見られたりと、1日を通して、子ども達にとって特別な時間が流れているように感じました。

2日目もキックベース大会をやったり、みんなで楽しく過ごし、片付けや掃除も一生懸命やってくれました。帰るときに、みんなでお礼の挨拶をしました。元自衛官で強面のセンター長さんが、こう言ってくれました。「2日間みんなの様子を見ていたけど、みんなが明るくて元気で、いい子たちなのがすぐ伝わってきました。コロナだなんだと暗いニュースが多くて嫌んなっちゃってたけど、みんなの顔見てたら、なんか元気になっちゃったよ。是非、毎年来てください。」と・・・愛育園の子ども達の力はすごいなあと最高の気持ちになりました。また、それとは別にセンター長さんが私の耳元でこう言いました。「1日目に君らがテント張りしていた時間あったら？その時、君とこの園長先生な、入り口のとこの公衆トイレを汗だくになりながら掃除してくれてたんだよ。ありや誰も見てねーぜ。君、知らなかったろ。俺あ、感激したなあ。」と。

これからも園長先生の下、職員が一丸となって、子ども達と共に最高の行事を作り上げていきたいと思いました。

小田切青少年錬成センターの皆様、本当にありがとうございました。

さて、次は愛育園運動会です。最高の運動会にします。

キャンプ行事

今年の愛育園キャンプの場所が変更になり、初めて青少年錬成センターの場所をお借りしキャンプ行事を行いました。キャンプ当日に向け、下見を行ったり、当日スムーズにテント等張れるように富澤Tを中心に準備を行いました。愛育園の行事は特に事前の準備を大切にしているため、子ども達と一緒に寝袋を干したり、各班の食器を分けたり、キャンプに向け班の絆を深めるため班旗作りを行います。何度もキャンプ行事を経験している子は段取りもわかっているため、進んで準備を手伝ってくれます。今年初めて参加した子も、周りがどんなことを手伝っているかなど、周りを見ながら自分の出来るお手伝いを一生懸命やってくれました。特にテント張りは中高生と職員で協力し行いましたが、中高生の手際の良さにはとても助けられ、14張りを2時間もかからず建て終わったのは、さすが！！と思いました。またご飯作りも小さい子から大きい子までみんなで協力して行いました。私の班は餃子を作りましたが、キッチンバサミを使って一生懸命材料を切ってくれたり、餃子の皮を楽しみながら包んでくれ、普段の日常生活では見れない表情をたくさん見ることができました。また夜に毎年恒例の中高生と職員で過ごす時間があり、私はこの時間が大好きです。私は普段まごころホーム勤務なので、なかなかあおぞらホームの子とゆっくり話す時間が持てていませんが、こういう機会にたくさんあおぞらホームの子とも話ができて、とっても楽しい時間になりました。

今回キャンプを行った2日間は愛育園で会場を貸し切らせてもらい、とてものびのびと過ごすことができました。また子どもたちも夏の思い出を作ることができ本当に良かったです。次は、愛育園運動会があります！子どもたちと協力し、よい行事になるよう頑張りたいと思います。

愛育園キャンプ



あおぞらホーム 山田忍

8月3日、4日 愛育園キャンプがありました。毎年、戸隠でキャンプをしていたのですが

今年是小田切錬成センターでのキャンプになりました。初めてのキャンプ場で今までと勝手が違っていてもかかわらず、いつものキャンプと同じように滞りなく設営や料理、レクが出来たことに子供たちの適応する力はすごいな、とつくづく思いました。

自分は4班の班長でした、大きなトラブルなどは無かったのですがもう少し4班としての盛り上がりや団結力があっても良かったかな、と感じています。キャンプ

主任保育士 石崎早織



までのいろいろな準備も中高生達がよく手伝ってくれてとても助かりました、来年は子供たちみんなで作るんだ、という雰囲気をもっと強くしていけたらいいなと感じたキャンプでした。この思いを他の行事にも当てていきたいなと思います。

愛育園キャンプ



まごころホーム 橋本雅

8月3・4日に、青少年錬成センターでキャンプを行いました。前日まで、グループで食事のメニューや班名を決めたり班旗を作ったり、買い出しをしたりと沢山準備をしました。

当日は、天候に恵まれキャンプを行うことができました。今年のテーマは、「熱盛～目指せ！ぼくの、わたしのファインプレー～」です。1日目、テント張りから始まり開村式、グループ活動、夕食

作り、キャンプファイヤー、花火などをやりました。2日目は、朝食作り、キックベース大会をしました。

個性ある工作作りや体を動かして遊んだアスレチックやキックベース大会、班それぞれでアイデアをだし協力して作った食事作り、大きな声で歌ったり踊ったりしたキャンプファイヤー、綺麗な花火もやりとても楽しいキャンプでした。毎年、行事を通して感じることは、一人一人が準備から片付けまで一生懸命取り組んでいることに凄いと感じます。幼児から高校生まで自分のできることを探して最後までしっかり取り組む姿にいつも感動します。今年のキャンプも一人一人が一生懸命に取り組み笑顔が沢山のファインプレー、「熱盛」が飛び交い充実した2日間になり素晴らしいキャンプでした。

キャンプ 児童感想

キャンプ～熱盛～

今年戸隠キャンプ場ではなく、長野市青少年錬成センターでした。今年もコロナウイルス流行でキャンプができないと思ったけどキャンプがあると聞いてホッとしました。本当は部活があったけど休んでキャンプに参加しました。キャンプ場に着いたら荷物を運んだり、テントを立てたりしました。キャンプ場にはたくさんの虫がいました。自分たちのテントを立て終わった後、幼児さんたちのテントもたてました。他にも、他の子のテントの班も手伝いました。思ったよりも早く終わったので、開村式を早めにやりました。開村式の後に昼食を食べ、手作りカレーはとても美味しかったです。次にグループ別行動で、ブーメランを作ったり、アスレチックで遊んだりしました。ブーメランは上手に作れたので良かったけど、投げたときに自分の元に戻ってこなかったです。アスレ



チックでは色々な所に蜘蛛の巣があって気持ち悪かったです。でもたくさんのアスレチックで遊んだので楽しかったです。その後お昼ごはんをつくりました。自分の班は、焼き鳥を作りました。自分は火おこしをしましたが、前年よりも早く火がつけました。焼き鳥は美味しく作れたのでよかったです。焼き鳥を20本ぐらい食べました。デザートはフルーツポンチを食べました。果物が甘くて美味しかったです。たくさん作り過ぎてしまい少し残ってしまいました。夕食が終わったらキャンプファイヤーをしました。空はまだ少し明るかったですが、みんなで盛り上げました。盛り上がっているうちにだんだん空が暗くなり、とても楽しいキャンプファイヤーになって良かったです。そのあとは花火大会をやりました。花火の煙がやばかったです。花火大会の後は中高生でラーメンを食べたりしました。自分はラーメンを食べなかったけど、富澤先生の班の残りのご飯を食べていました。とても美味しかったです。他にも話をしたりしてとても楽しかったです。これで一日目のキャンプが、終わりました。寝るときには虫がいてあまり気持ちよく寝られませんでした。次の日は、朝5時ぐらいに起きて、顔を洗ったりして目を覚ました。二日目の朝ごはんは、パンを焼いて食べました。パンにジャムを塗って食べてとても美味しかったです。デザートのフルーチェも特にパインが美味しかったです。朝食後は、テントの片付け、荷物運びをしました。テントは立てるときよりも早く片付けられました。片付けが、終わったらキックベース大会がありました。自分はライン引きなどの準備をしました。準備しているだけで汗が出ていました。キックベース大会では、自分のいる石崎先生チームが勝ちました。みんなで楽しくキックベース大会ができてよかったです。その後はお昼ご飯を食べました。昨日はカレーだったけど、うどんでした。最初は食べられないと思ったけど、食べてみたらすぐに、空っぽになりました。スイカも二つぐらい食べました。お昼を食べ終わった後、富澤先生と坂道ダッシュを勝負したら、1番最初の段差に足をはめてしまい、ひねってしまいました。めっちゃ痛かったです。1番最後に怪我をしてしまったので最悪でした。でも楽しいキャンプができてよかったです。

(中2・Y君)

キャンプ

八月三日と四日に、キャンプがありました。今年は、キャンプ場が変わりました。コロナウイルスの関係もあって、場所の名前は長野市青少年錬成センターで、僕はキャンプファイヤー係で、猛獣狩りをやりました。グループ別行動では、木工細工でルアーを作りました。作るのが大変でした。花火大会は、手持ち花火とドラゴンの花火をしました。すごく楽しかったです。二日目はキックベース大会で石崎先生チームと富澤先生チームに分かれてやりました。僕は石崎先生チームでした。11対6で勝ちました。すごく嬉しかったです。二日間いっしょんに終わってしまいました。また来

年も青少年錬成センターに行きたいです。

(中1・R君)

キャンプ

八月三日と四日に、キャンプに行きました。僕は初めてのキャンプでした。僕は三班で、班名は、TEAM ウルフィンズです。1日目は荷物の準備やテント設営をがんばりました。その後の開村式も、自分の二日間頑張りたいことも言えたので良かったです。1日目の昼ごはんはカレーライスでした。その後はグループ別行動をしました。僕は木工細工でした。ビー玉の迷路をつくりました。園長先生や富澤先生に手伝ってもらいました。ありがとうございます。そのあとは、夜ご飯作りです。僕の班は、ピザとなだれパンケーキとヤンニョムチキンを作りました。僕は、ピザの具を切ったり、盛り付けや火おこしなど頑張りました。とってもおいしかったです。食べ過ぎて動けなくなるぐらい食べました。そのあとはキャンプファイヤーをしました。とても盛り上がって楽しかったです。その後の花火大会もすごく楽しかったです。一日目の最後には、中高生と先生で打ち合わせをしました。カップラーメンが美味しかったです。テントでもよく寝れました。二日目は、ラジオ体操をした後に、朝食をつくりました。オムライスと肉まんサンドとレモネードとコーンスープを作りました。とても美味しかったです。そのあとはキックベース大会をしました。僕は富澤先生チームです。最初の打席で先制打を打ちました。守備でもフライをとれたりしました。そのあとの打席も2本のヒットを打ちました。とても嬉しかったです。けど負けてしまったので、悔しかったです。二日目のお昼ご飯は、うどんでした。僕はこの二日間のキャンプすごく楽しかったです。いい思い出になりました。

(中1・Y君)



キャンプ まごころ児童感想

キャンプをやりました。ご飯を作ったりお手伝いをやりました。いろんなことをしました。夜、歌を歌って CC レモンとスイカの名産地と、もうじゅうがりにいこうよをやりました。てもち花火は、きれいでした。うちあげ花火もきれいでした。よるになると、ねれなかったけど、ちゃんとゆめはみれました。

(小2)

8月3日、4日にキャンプに行きました。今年は、例年とは違う場所でやったけど、とても良い所だったと思います。キャンプ場について、荷物をおろして、テントを立てました。テントを立てるのは意外と難しく、個人的に上手くいかなかったところもあったけど、協力してできたので良か

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。



ったです。グループ別行動では、私は、アロマワックスバーを作りました。ろうそくを折るのが一番大変でした。折ったろうそくをお湯で上手く溶かすことができよかったです。匂いは薄くなってしまったけど、きれいにできました。夕飯作りでは、玉ねぎなどの具材を切ったり、飲み物を作ったりしました。班の人と協力して美味しく作れたので良かったです。キャンプファイヤーは係の人が盛り上げてくれて楽しく出来ました。花火も楽しかったです。二日目は、ラジオ体操をしてから朝食を作りました。卵焼きを初めて作りました。まあまあ難しかったけどできてよかったです。キックベースは、フライがなかなか取れなかったけど、チームで協力して勝てたので良かったです。楽しかったです。

(中2・Uさん)

今年のキャンプは、戸隠ではなく、長野市青少年錬成センターでやりました。行く前の荷物積み込みから協力してスムーズに終わらせて良かったです。行きのバスで、クイズやイントロをしました。結構難しくて全然わからなかったけど、他のみんなは分かっていますよかったです。でも一問分かって嬉しかったです。私は班長だったので、開村式で班旗の説明をしました。上手く出来るか不安だったけど、しっかり説明できたので良かったです。すごく緊張しました。その後は昼食を食べてグループ別行動をやりました。グループ別ではスノードームとアクアリウムを作りました。好きなものを入れて作れて楽しかったです。夕食では、焼き鳥、焼きおにぎり、餃子の皮のピザ、フルーツポンチ、サラダを作りました。私は焼きおにぎりや餃子の皮のピザを作りました。焼きおにぎりはチーズとみそと肉巻きおにぎりを作りました。餃子の皮のピザは、ウインナーとピーマンとチーズをのせました。両方とも楽しく上手に作れてよかったです。量が多かったけどとても美味しかったです。キャンプファイヤーと花火はみんなで盛り上げてとても楽しかったです。花火はとてもきれいでした。

私は一日しかいなかったけど、とても楽しかったです。来年も班で協力してキャンプを楽しみたいです。



(高1・Aさん)

かき氷大会

あおぞらホーム 大山豊彦

8月27日、9月7日、17日に愛育園でかき氷大会をしました。今年の夏もとても気温が高い日が続き、子どもたちも暑さにやられていることもありましたが、しかし、かき氷大会と聞くと子どもたちの顔がウキウキになり、蒸し暑い中ではありましたがとても楽しいかき氷大会を開くことがで

(令和3年9月10日発行 月刊「円福」492号付録)

きました。今回のかき氷は、南製氷店さんから本格的な氷とかき氷気をお借りして実施する事ができ、子どもたちも大喜びでかき氷を食べていました。中には7杯、8杯も食べる子もいて、あとでお腹を壊さないか心配しましたが、かき氷のおかげで元気いっぱいになり、午後の活動に参加する事が出来ていました。

17日のかき氷大会では、大雨の後で気温が低く、かき氷大会も実施できるか心配でしたが、子ども達に天気は関係なかったみたいで、天気が悪かろうとかき氷は大人気でした。

まだまだ暑い日々が続いておりますが、夏休み中に沢山の思い出を作ることができた子どもたちには、日々の生活や勉強をこれからも頑張りたいと思います。また、私も子供達と一緒に頑張っていきたいと思います。



肝試し

あおぞらホーム 畔上裕吾

今年の肝試しは例年とは場所が変わり、お寺での肝試しとなりました。例年であれば、キャンプ行事の一環としてキャンプ会場での肝試しが行われてきたのですが、今年は場所が打って変わりお寺での肝試し。暗闇の中で行われ、さらにお寺ということもあり、お墓に囲まれ恐怖感も倍増された中での肝試しとなりました。子どもたちは最初にお寺の本堂で職員が実体験を語った怖い話を聞き、怖い話を聞いている裏では肝試しの準備が着々と進められ、あおぞらホームの高校生・職員でお化けに変装し、リハーサルを行っていました。怖い話を聞き、さらに恐怖に煽られた子どもたちはいよいよ肝試しとなり2～3人で一組としスタートしました。普段から活発で怖がりではなさそうな小学生のSくんはスタート時点から恐怖で震え上がっている様子で、各仕掛けに毎回のよう悲鳴を上げており、肝試し途中で泣き出してしまいう子も多かったです。仕掛け人役のあおぞら高校生たちはどうすれば怖くできるのか、試行錯誤を繰り返していました。肝試しをする側、仕掛け人ともに夏休みの良い思い出になったのではないかなと思います。

あおぞらホームだより

あおぞらホーム 石龍成己

長い夏休みも終わり、1年の中で最も長い2学期の生活が始まりました。夏休み中はキャンプがあったり、毎日のように川、公園、プールなどの外遊びをしてきたり、ホーム食、かき氷大会、釣り大会、夜には肝試しをしたりと昨年と比べてもだいぶ充実した生活を送ってきました。ホームの廊下には、富沢先生が作成してくれた、1日の様子の写真がずらっと飾られてますが、どの写真の子の表情を見ても、生き生きとしています。1学期の生活の中では見られなかった表情が多いです。

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

楽しかった夏休みが過ぎ、それぞれ気持ちを新たに生活がスタートしています。小学生は園での生活、学校生活、宿題、少年野球に目を向け生活しています。特に起床・就寝は必ず時間を守るよう、心掛けさせています。長い休みでだいぶゆったりとなり、時間間隔もだいぶルーズになる時もありましたが、園でも学校でも集団生活の中で時間を守れないのはいけません。ギリギリ時間が間に合ったとしても、どこか抜けてしまうことがないように、早めに行動できるよう声をかけています。また、片付けや掃除がおろそかになることがありましたので、職員もホームの環境整備に努め、子ども達に日々の整理整頓を促しています。

中高生は、コロナの影響があり、部活があつたりなかったり、オンライン授業になったり、半日授業になったりでそれぞれ例年と違う状況ではありますが、それでも、園の生活に目を向けさせ、何事にも頑張れるようみています。特に中学生は早くも9月下旬に中間テストがあります。今の所夜の学習はほぼみんな集中して時間通り取り組んでいます。しっかり持続させていき、苦手な教科にも挑戦していけるように見ていけたらと思います。

同じく9月下旬には愛育園大運動会もあります。楽しかった日々が終わっても、目が離せない大きな行事がここからたくさんあります。子どもだけではないですが、1つ1つのことを頑張ることが大きな成長につながってくると思います。切磋琢磨し、2学期も良い学期になれるよう子ども職員共々過ごしていけたらと思います。

まごころホーム日より

まごころホーム 田中沙季

厳しい暑さで夜間も寝苦しい日が続いていましたが、少しずつ暑さもやわらぎ朝晩は過ごしやすくなってきました。酷暑の夏休みでしたが子どもたちは、外での活動を中心にたくさん遊びました。夏休みの愛育園の一大イベントと言えばキャンプです。今年は昨年とは違う場所で行うことができました。班ごとに食事を作ったりグループ別にアスレチックをしたり木工細工やアロマワックスバーなどを作りました。今年も準備片付けともに、みんなで協力してテキパキと行うことができました。その他夏休みにはかき氷大会も行いました。それぞれ好きな味のシロップをかけて、さらに練乳をかけたり、果物や白玉ものせました。みんなたくさんおかわりしてとても美味しそうに食べていました。その他にも公園に行ったり川に行ったり、あおぞらホームもまごころホームも存分に夏を満喫したと思います。今年も昨年に引き続きコロナウイルスの影響で制限はあったものの、それを感じさせないほど退屈することなくたくさん遊びました！たくさん良い思い出が子どもたちにとって2学期を頑張る活力になったらいいなと思います。

調理室日より

調理員 宮沢まき江

(令和3年9月10日発行 月刊「円福」492号付録)

コロナ渦の中の夏休みでしたが、先生方が一生懸命子供達に寄り添い、楽しませてくれていました。

楽しいキャンプ・BBQ・しゃぶしゃぶ・かき氷大会・地藏盆等様々な行事が行われました。

子供達の心には深く刻み込まれた事と思います。

調理では、迎え盆・送り盆には天ぷら、15日にはおやきを提供させてもらいました。

今月は5人の誕生日メニューがありました。

12日：Rさん誕生日メニュー

醤油ラーメン・鶏の唐揚げ・さけチーサラダ・スペシャルパフェ

18日：H君誕生日メニュー

豚肉ガーリック power 炒飯・カリカリポテト・ポテトサラダ・抹茶パフェ

22日：R君誕生日メニュー

チキン南蛮・ツナコーンサラダ・スペシャルゼリー

30日：Y君誕生日メニュー

牛丼・カリカリチーズ・スティック野菜・ジュース

31日：Mさん誕生日メニュー

オムライス・カリカリポテト・アセドアンサラダ・プリンアラモード

子供達の喜ぶ顔を思い浮かべながら、心込めて作らせて頂きました。

おもいやり8月 今月も、温かいおもいありがとうございます。

【おもいやり基金】

小林卷子様、柳澤岳男様、北沢義雄様、高澤通泰様、小林季雄様、塚田千春様、堅岩恵行様、中澤謙一郎様、曾川四季彩 work 様、後藤将弘様、塩川和泉様、西横田育成会様、石黒玄章様、笹川悦子様

【品物】

原田正広様 スイカ 4l6玉、BEN Farm 様 レタス 2箱(2回)、信州ハム様 ベーコン・ウィンナー3箱、ヌボー生花店(山崎政子様) デンファレ鉢植え、立正佼成会長野教会 お米 30キロ、小林君江様 野菜苗たくさん、杏花印刷 200m 1パックジュース 54個、(有)ガムレーシング(伊藤雅之様) 梨・幸水・段ボール 3箱、(株)柿の木冷温フーズ様 冷凍カットえのき茸段ボール 1箱、信州Gプロジェクト代表(傳田清様) 野菜 10品目たくさん、七味なめたけ瓶詰 36個、赤地精様 ジャガイモたくさん(コンテナ 3個)、小林季雄様 お菓子たくさん段ボール 9箱、竹内孝利様 粳米 40kg、小宮山光宏様 トルコキキョウたくさん、宮入多仁子様 お米 80kg、柳澤勝様 川中島白桃たくさん、丸茄子たくさん

